

高 齢 医 学

[M3-50069L1]

1 ユニットの概要

わが国の65歳以上の高齢者は全人口に対する割合を示す高齢化率は現在約28%であるが、2030年には32%となり、特に後期高齢者の人口が倍増し、かつてどの国も経験したことのない「超高齢社会」の到来が予測されている。さらに全疾患の半数以上は高齢者に発症する。それ故に、高齢者の心身と特徴、臓器の加齢変化、高齢者疾患の特性を理解しておくことは、あらゆる日常臨床の現場で役立つ。さらに高齢者医療の現場では複数の疾病を抱える人が著しく増加し、日常生活に関連した機能が低下するため、個々の疾病に対する診断と治療とともに、全身の臓器機能、ADLに代表される身体機能、心のケア、さらに社会環境の整備にまで及ぶ広い視点が必要である。このユニットでは、老化の基盤となる生化学的変化および老化に伴う各臓器および個体の生理的变化を理解する。さらには高齢者が種々の疾患で行き着く共通の老年症候群を理解する。老年症候群予防に必要な総合機能評価、介護保険を中心とする生活支援などを理解する。また特に高齢者で頻用される治療法のうち、薬物療法、輸液、リハビリテーションの基本を理解する。さらには小児高齢化と過疎によって今後重要となる在宅医療のあり方を理解する。高齢医学では、システムの複雑系を理解しその実践を学ぶ。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技能
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探求心

3 ユニットの到達目標（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 高齢者疾患に関係する領域（病理、内科、外科、放射線科 等）を理解する（③）
- 使用頻度の高い薬剤の薬理作用を概説できる（③）
- 医用機器の原理と使用法を概説できる（③）
- 診療ならびに疾患の探求に必要な方法論（文献の検索、理解など）を実践できる（②③⑥）
- 高齢者疾患に関わる…
 - ・ 収集した情報から臨床問題解決のための考察ができる（③⑥）

- ・ 主要な症候・疾患の発症機序、病態生理が説明できる (③)
- ・ 主要な症候・疾患を診断するための検査が理解できる (③)
- ・ 主要な症候・疾患の治療が理解できる (③)
- ・ 主要な症候・疾患の予後が理解できる (③)
- 高齢者疾患の医療に関わる…
 - ・ 多職種・チーム医療を理解し、医師の役割を理解できる (①④)
 - ・ 社会制度 (厚生医療など) を理解できる (⑤)

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

認知症、せん妄、睡眠障害、発熱、呼吸障害、歩行障害、胸痛、腹痛、浮腫、蛋白尿、血尿、尿量・排尿の異常、食欲低下、低栄養、脱水、便秘、電解質異常、アシドーシス、アルカローシス

疾患・治療

脳卒中、肺炎、心不全、心筋梗塞、虚血性心疾患、心臓弁膜症、動脈疾患、認知症、尿路感染症、老年症候群、廃用症候群、骨そしょう症、高・低Na血症、高・低K血症、高・低Ca血症、補液、経静脈栄養、経腸栄養、輸液療法、リハビリテーション

検査・医用機器など

超音波検査、CT/MRI 検査、脳血流シンチ

4 学 習 方 略

統合型講義、発表と全体討議、実習

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	実習・レポート	技能・態度	/
	PBL	技能・態度	
	口頭試問	知識	
	授業の出席	態度	
総括的評価	ユニット試験	知識	100%
	その他		
合計			100%
ユニットの単位認定は授業の出席、ユニット試験の結果を主として実習中の態度、レポート、PBLでの学習態度、口頭試問などの結果を加味して最終的に行う。			

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

シラバスの資料についてあらかじめ印刷し、目を通しておくこと。

教科書（老年医学系統講義テキスト）の 下記ページを読んでおくこと。

総合機能評価と多職種連携	p60-p86
高齢者の栄養・微量元素不足	p87-p89
脳卒中	p204-p209
肺炎と嚥下障害	p96-p97、p220-p224
高齢者の薬物治療	p169-p172
退院支援と地域連携、在宅医療	p192-p194、p300-304
高齢者のリハビリ	p188-p191
外科治療、大動脈・下肢、動脈硬化	p184-p187、p128-p130、p210-p213
加齢と生理的変化	p131-p159
高齢者の感染症	p282-p286
高齢者医療制度と介護予防	p288-p299、p90
高齢者消化器疾患	p133-p135、p250-p253
入院中高齢者ケア	p162-163、p112-p116
終末期医療・在宅医療	p308-p318
高齢者の転倒・骨折	p98-p101、p240-p249
慢性疾患管理	p198-p209、p225-p239
高齢者救急	p173-p175
骨粗しょう症	p240-p249
高齢者の心不全、虚血性心疾患	p198-p203
老化の生化学	p29-p58
認知症の診断	p257-p266

教科書（健康長寿診療ハンドブック 2019年）の 下記ページを読んでおくこと。

高齢者の総合機能評価	p7-p12
認知行動障害と気分障害	p13-p27
栄養	p51-p62
サルコペニア	p72-p76
フレイルと介護予防	p77-p84
高齢者で重視すべき慢性疾患管理の要点	p97-p114
高齢者の薬物療法	p148-p154

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：45 分、 復習：45 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

ユニットの途中で行う試験に関しては、試験後に配布する解答・解説冊子等で、適宜フィードバックを行う。

ユニットの途中で行う試験に関しては、アンケート結果や質問をもとに、解説を提示する。

小テストについては、講義中に解説する。

PBL は、講義中に解説する。

9 教育担当者

ユニット責任者： 大黒 正志（高齢医学）

週責任者： 矢野 浩（高齢医学）

担当教員： スケジュール参照

10 参考図書・文献

購入すべき図書

1. 「老年医学系統講義テキスト」西村書店（日本老年医学会、大内 尉義 編）
2. 「健康長寿診療ハンドブック ー実地医家のための老年医学のエッセンスー」メディカルビュー社（日本老年医学会 編）
3. 「臨床心電図講義」金沢医科大学出版局（岩井 邦充 著）
4. 「高齢医学症例集 高齢者救急医療」金沢医科大学出版局（大黒 正志、岩井 邦充 著）

購入するとよい図書

1. 「新臨床内科学」第10版 医学書院（矢崎 義雄 監修）
2. 「入門リハビリテーション概論」第7版 医歯薬出版（中村 隆一 編）
3. 「輸液を学ぶ人のために」第3版 医学書院（和田 孝雄、近藤 和子 著）
4. 「よくわかる輸液療法のすべて」改訂第2版 永井書店（北岡 建樹 著）
5. 「Procedures Consult」金沢医科大学 HP→学生・教職員→イントラネット→図書館→Procedures Consult（医療技術動画）
6. 「ナーシング・スキル」金沢医科大学 HP→学生・教職員→イントラネット→図書館→ナーシング・スキル（医療技術動画）

このほか各領域の推薦参考書は各教員におたずねください。

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	10月31日 (火)	4	講義	【高齢医学総論】高齢者医療制度介護予防	B-1-8)-③	高齢医学	森本教授
後	2	10月31日 (火)	5	講義	【高齢医学疾患】高齢者の脳・精神疾患	D-2-4)-(02)-②	高齢医学	森本教授
後	3	10月31日 (火)	6	講義	【高齢医学疾患】骨粗鬆症	D-4-4)-(1)-⑤	高齢医学	森本教授
後	4	10月31日 (火)	7	講義	【治療法総論】高齢者のリハビリテーション	E-8-1)-G	リハビリテーション医学	松下教授
後	5	11月01日 (水)	1	講義	【高齢医学総論】加齢と生理的变化	E-8-1)-①	高齢医学	大黒教授
後	6	11月01日 (水)	2	講義	【高齢医学総論】退院支援と地域連携、在宅医療	F-2-15)	高齢医学	大黒教授
後	7	11月01日 (水)	3	講義	【高齢医学疾患】高齢者の虚血性心疾患	D-5-4)-(02)	高齢医学	岩井教授
後	8	11月02日 (木)	1	講義	【高齢医学疾患】脳卒中	D-2-4)-(01)-①	高齢医学	大黒教授
後	9	11月02日 (木)	2	講義	【高齢医学総論】老年症候群と総合機能評価	E-8-1)-③	高齢医学	大黒教授
後	10	11月02日 (木)	3	講義	【治療法総論】水・電解質異常と輸液の基本1	F-2-11)	高齢医学	森本教授
後	11	11月06日 (月)	1	講義	【高齢医学総論】高齢者の感染症	E-2	臨床感染病学	飯沼教授
後	12	11月06日 (月)	2	講義	【高齢医学総論】高齢者の消化器疾患	D-7-G	消化器内視鏡学	島崎准教授
後	13	11月06日 (月)	3	講義	【高齢医学総論】高齢者の栄養	E-8-1)-⑧	消化器内視鏡学	島崎准教授
後	14	11月07日 (火)	4	講義	【治療法総論】高齢者漢方1	F-2-08)-⑬	総合内科学	守屋准教授
後	15	11月07日 (火)	5	講義	【治療法総論】高齢者漢方2	F-2-08)-⑬	総合内科学	守屋准教授
後	16	11月07日 (火)	6	講義	【治療法総論】高齢者漢方3	F-2-08)-⑬	総合内科学	守屋准教授
後	17	11月07日 (火)	7	講義	【治療法総論】水・電解質異常と輸液の基本2	F-2-11)	高齢医学	森本教授
後	18	11月08日 (水)	1	講義	【高齢医学疾患】高齢者救急	G-4-1)-(7)-G1	高齢医学	大黒教授
後	19	11月08日 (水)	2	講義	【高齢医学総論】高齢者の薬物治療	E-8-1)-⑨	高齢医学	大黒教授
後	20	11月08日 (水)	3	講義	【高齢医学疾患】高齢者の心不全	D-5-4)-(01)-⑤	高齢医学	岩井教授
後	21	11月10日 (金)	4	講義	【高齢医学疾患】肺炎と嚥下障害	E-8-1)-③	高齢医学	大黒教授
後	22	11月10日 (金)	5	講義	【高齢医学疾患】外科治療、大動脈・下肢、動脈硬化	E-8-1)-G	総合内科学	中橋教授
後	23	11月10日 (金)	6	講義	【高齢医学総論】終末期医療	E-8-1)-⑫	総合内科学	中橋教授
後	24	11月10日 (金)	7	講義	【治療法総論】水・電解質異常と輸液の基本3	F-2-11)	高齢医学	森本教授
後		11月18日 (土)	1	試験	試験			
後		11月18日 (土)	2	試験	試験			
後		11月18日 (土)	3	試験	試験			